

## 第 1 回新城市若者議会

平成 3 0 年 5 月 2 日（水）午後 7 時～午後 8 時 3 0 分  
新城市議会 議場

開 会 午後7時00分

○三浦企画部長 企画部長の三浦でございます。若者議会の議長が決まりますまで、私が進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから平成30年度、第1回新城市若者議会を開会いたします。

### 1. 辞令交付

○三浦企画部長 初めに辞令交付を行います。

代表して、三井宏恭委員に交付をさせていただきます。

三井宏恭委員、正面にお進みください。

○穂積亮次市長

辞令 三井宏恭。

新城市若者議会委員を委嘱する。

任期 平成30年5月2日から平成31年3月31日まで

平成30年5月2日 新城市長 穂積亮次

○三浦企画部長 ありがとうございます。なお、そのほかの委員の皆様におかれましては、それぞれの机の上に辞令をお配りしておりますので、御確認をお願いいたします。

### 2. 市長あいさつ

○三浦企画部長 次に、穂積市長からごあいさつを申し上げます。

○穂積亮次市長 今日が第4期若者議会の始まりであります。それぞれ、皆さんは若者議会の歴史を理解をし、またその活動の様子を知りながら、今回の議会に手を挙げていただきました。まずは、その心意気、勇気に心から感謝をして、敬意を表したいと思います。

第1期若者議会のときには、手本となるモデルもなく、先行する事例もない中で手探りで進んできました。そして、1期、2期、3期と重ねるごとに、若者議会の持つ意味がより大きく、広く社会の中に知れ渡り、そしてさまざまな評価をいただくようになりました。我々は一歩たりとも自分の地平に甘んじずに、前へ前へ進んでいきたいと思っています。第4期の若者議会の皆さんは、これまでの3期

の若者議会の経験や歴史に学びながら、同時に4期らしい、君たちらしい若者議会を全力でつくり上げていってほしいと思います。

ありがたいことには市外委員の皆さん、メンター市民の皆さんが大勢、皆さんを支えてくれると思います。また、市役所の職員、担当職員、またメンター職員も含めて、皆さんとともにきずなを結んで、一緒になって手をつないで走っていく覚悟ができています。困ったこと、苦しいこと、難しいこと、いろいろあると思います。それを率直に相談をしていただくこと、そして何よりも君たちの隣に、後ろに、前に座っている同期の仲間たちを信頼して、忌憚ない話し合いを続けながら、自分の立ち位置を見定めていただきたいと思います。

1年間、限られた時間ですけれども、最大限に有効に使っていただいて、若者議会4期生を務めたことに、皆さんの中に大きな誇りと自信が生まれるように、そしてそれが次の第5期の皆さんに引き継がれていくように、そして皆さんはたまたま20名、この議会の場に座っていますけれども、その背後には御家族の支え、地域の期待、また同級生や同僚の皆さんの応援もあることかと思えます。大勢の皆さんの気持ちを背中に受けながら、同時に自分らしい若者議会を務めていただきたいなと思います。

新城市は若者が活躍できるまちを目指して、歩み続けていきます。そして、その若者が活躍できる社会は、同時にお年寄りから子供たちまでが世代の間がしっかりときずなで結ばれて、交流が生まれ、世代のリレーがバトンタッチされていく、そんな地域であります。

皆さんの活躍に期待をして、本日の辞令交付、そして第1回の若者議会にあたってのごあいさつといたします。1年間、よろしくお願いいたします。

### 3. 若者議会議長選出、副議長指名

○三浦企画部長 ありがとうございます。

次に、若者議会の議長の選出を行います。

新城市若者議会条例第5条第2項では、議長は委員の互選により定めることとなっております。

議長立候補の申し出を受け付けさせていたしましたが、申し出者は瀬野航太委員お一人のみであり、他の委員の申し出はございませんでした。

したがって、瀬野航太委員が議長に選任されることとなりますが、御異議がなければ、拍手をもって御賛同をお願いいたします。

(拍手)

○三浦企画部長 異議なしと認めます。

瀬野航太委員が議長に選任されたことが決定をいたしました。

それでは、議長に選任されました瀬野航太委員からごあいさつをいただきます。

また、新城市若者議会条例第5条第2項におきまして、副議長は議長が指名することとなっておりますので、あいさつに続き、副議長の選任につきましてもお願いしたいと思います。

それでは、瀬野議長、前のほうへお進みください。

○瀬野航太議長 第4期若者議会の議長を務めさせていただきます新城東高校2年の瀬野航太です。よろしくお願いいたします。

僕は第3期でも若者議会を活動してきましたが、その中で一番大切だと思ったことがあります。それは人と交流をするということです。まず、僕たちは最初に一番身近な人とかかわる場所というのが自分のチームのメンバーだと思います。僕も今年のちょうど今ごろ、チームのメンバーと顔を合わせたときに、本当に最初は全然人と、自分から声をかけることもできないし、自分から話すこともできなかったことを覚えています。その中で、準備会の際に、唯一話せたのが、中学校2年生のときに少しだけかかわりを持った、今現在メンター市民の山本青空君だけでした。準備

会の際は本当に青空君だけしか話せないという状況でした。ですが、会議を何回も重ねていくうちに、だんだん自分から話せることができるようになって、自分の事業のメンバーでプライベートで遊びに行くほど仲よくなることができました。

ほかにもあります。昨年の夏、山梨学院大学の方が、若者議会を視察に訪れてくださいました。そのときに、自分を含めて数人が説明をしたのですが、そのときの出会いがきっかけで、今年の1月に若者議会のPRということで、山梨県へ行って、山梨学院大学の人と交流をして、一緒に協力をしながらワークショップを行うことができました。それも何度も山梨学院大学の人と連絡をとりあって、自分たちで計画をすることができました。

人と交流をしたり、話したりするということは、後に絶対、自分のためになるなということを実感しました。

今回、4期の議長を務めさせていただきますが、議長という仕事は、今までと違って、自分のチームのことだけを考えるのではなく、やっぱり議会全体を見て、考える必要があると思います。それをしっかりと自分で意識をして、努力をして1年間、頑張っていきたいと思います。

第4期、1年間、よろしくお願いいたします。

○三浦企画部長 それでは、瀬野議長、副議長の指名をお願いいたします。

○瀬野航太議長 副議長は、伊藤早希委員にお願いします。

○三浦企画部長 それでは、伊藤早希委員、副議長として、その場にお立ちをいただきたいと思います。

一言、ごあいさつをお願いいたします。

○伊藤早希副議長 1年間、副議長として頑張りますので、お願いします。

○三浦企画部長 ありがとうございます。それでは、1年間、よろしくお願いいたします。

#### 4. 諮問

○三浦企画部長 続きまして、若者議会の体制も整いましたので、市長から若者議会への諮問を行います。

瀬野議長、よろしくお願いたします。

○穂積亮次市長 新ま7・2・1

平成30年5月2日

新城市若者議会議長 瀬野航太様

新城市市長 穂積亮次

若者総合政策の実施に関する事項について  
(諮問)

このことについて、新城市若者議会条例第2条に基づき、下記の事項について、若者議会の意見を求めます。

#### 記

1. 諮問事項 若者総合政策の実施に関する事項について

2. 答申期限 平成31年3月末まで

以上です。

○三浦企画部長 ありがとうございます。

これから、1年間、この諮問書に基づきまして、しっかりお取り組みいただきますよう、よろしくお願いたします。

これより、新城市若者議会条例第6条第1項の規定により、瀬野航太議長に進行をお願いしたいと思います。

それでは、瀬野航太議長、よろしくお願いたします。

#### 5. 所信表明

○瀬野航太議長 それでは、所信表明を行います。

また、今年度の若者議会では、市外委員として5名の方々に参加いただいております。市外委員にも所信表明をしていただくことにしたいと思います。

それでは、若者議会委員及び若者議会市外委員お一人ずつ、所信表明をお願いしたいと思います。

初めに、三井宏恭委員、お願いたします。

○三井宏恭委員 新城東高校2年、鳳来地区

出身の三井宏恭です。

僕が若者議会に入った理由は、新城の魅力を広く発信し、多くの人が訪れるまちにしたいと思ったからです。

僕は新城東高校に通っていますが、豊川方面から通っている友達から、新城って何も無いよねと言われてことがあります。自分では、そんなことはない、新城にもいいところはたくさんあるんだとわかっていても、それは自然や歴史ばかりで、若者が楽しめる場所を考えても余り思いつきませんでした。

新城市に若者が訪れ、楽しめるような場所はないのかと考えていたとき、出会ったのが第3期の若者議会の活動である新城フォトコンの活動です。はやりのSNSで新城市の写真を投稿するというのは、非常におもしろいと思い、調べてみると、そこには今までの自分が知らなかった美しい新城市の写真が数多く投稿されていました。それらを見て、新城にはまだ自分の知らない魅力がたくさんあるのではないかと思いました。これまで若者が見ても楽しめないと感じていた自然も、やり方次第で若者が訪れ、楽しめる場所になるのではないかと感じました。

そこで、若者議会に入り、新城の魅力を知り、それを広く発信することで、新城に観光に来てくださる方を少しでもふやしたいと思いました。また、市民の皆さん、特に若い世代が、自分の住むまちについての興味や関心を持つきっかけにもなってほしいと思います。

自分はまだ人前で発表することなどになれておらず、今も非常に緊張しています。しかし、今後、会議を重ねていく中で成長し、発表等もうまくできるようになっていきたいと思っています。

1年間、よろしくお願いたします。

○瀬野航太議長 次に、瀧川俊介委員、お願いたします。

○瀧川俊介委員 こんばんは。私はシステムハウスアールアンドシー新城工場に勤務して

います、東郷地区出身の瀧川俊介と申します。

今は、地元消防団、地元祭礼青年団として活動をしています。活動を通して、最近感じていることがあります。それは若者離れです。それは地域だけではなく、新城市全体でも言えることではないでしょうか。その中でも、この若者議会という存在は、新城市の若い世代たちが新城を盛り上げようとし、活動を行っている場所です。そんな姿を1期、2期、3期と御縁があり、見せていただくことができました。

そんな中、自分がもし、この若者議会に入ったら何ができるだろうかということを考えていました。その場合、地域をまず盛り上げることを始め、そこから新城市全体を盛り上げることができるのではないかと思います。

でも、できるではなく、やってみよう精神というものが大事だと僕は思っているので、この精神を1年かけて、すばらしいものにつくり上げられるよう頑張りますので、1年間、よろしくをお願いします。

○瀬野航太議長 次に、伊藤早希委員、お願いします。

○伊藤早希委員 豊橋創造大学短期大学部幼児教育科1年、伊藤早希です。

私が第4期若者議会に入った理由は、2つあります。

1つ目は教育ブランディングチームに参加してみたいと思うからです。今、私は幼児教育について勉強をしています。幼児が対象ではないですが、子供に携わる政策ができる若者議会にとっても興味がわきました。教育ブランディングチームに参加をし、18歳の選挙権について、中学、高校生を対象としたワークショップを行いたいと思いました。

実際に、私が18歳で高校3年生のころ、選挙権が18歳に引き下げられましたが、クラスの18歳を過ぎた友達は選挙に行かない子が多かったです。なので、18歳になる前から選挙に関心を持つ機会が必要だと思いま

す。チームの特性を生かした政策を計画、実施したいと思います。

2つ目は、第1期若者議会の委員を行って、自分の成長があったと思うからです。第1期では、図書館のリノベーション計画を立案、実施したゲットユースチームに入っていました。ほかの図書館への視察や、市民の声を聞くアンケートの実施、新城市の図書館の職員の方との話し合いなど、高校1年生だった私にとって、初めての体験が多く、自分の意見をしっかり伝えることや、多方面から意見を集め、多くの人のニーズに応える大切さなど、さまざまなことを学ぶことができました。なので、第4期でも自分の成長ができることが、自分を成長させることができるように努力したいと思います。

以上で終わります。

○瀬野航太議長 次に、森勝哉委員、お願いします。

○森勝哉委員 共和レザー株式会社新城工場に勤めております、舟着地区出身の森勝哉です。

私が新城市若者議会に入った理由は、20年以上住んできた新城市というまちが、時の流れとともにだんだんと都市化が進んでいき、風景が変わっていく姿を見ていて、自分にも新城のまちなみに手を加えたり、新城市のために力になればという感情が芽生えたことがきっかけとなりました。

もつくる新城や長篠設楽原パーキングなどの新しい観光施設や25歳成人式などの新しい催し事もふえる中、自分だったらこういう情報提供やこんなPRもしてみたいなと思うこともあり、そういったアピールをこの若者議会という場でしていきたいです。他県、他国の方や老若男女問わず、いろいろな人に新城市のよさを伝えていきたい、これからの活動が楽しみで胸が高鳴るばかりです。

もう1つは、この若者議会という存在をもっと広めていくことです。近年では、SNS

が栄え、私自身も新城市若者議会はSNSで知りました。SNSで拡散するというのは1つの方法として、とても良いと思います。しかし、自分たちが行動をし、新城市のよさを直接、人の目や耳に届けることで、もっともっと新城市のことや、私たち若者議会のことを知ってもらえるのではないかと感じております。

若者議会の中では、年齢は上のほうになりますが、10代の人や年上の人にも負けず、自分のよさを存分に出し、みんなでこの新城市を盛り上げられたら、一新城市民として、これ以上うれしいことはないと思います。楽しむ、伝える、行動する、この3つを大切に一生懸命頑張っていくことを約束します。

1年間、よろしくをお願いします。

○瀬野航太議長 次に、峯田恵太委員、お願いします。

○峯田恵太委員 豊川高等学校1年、作手地区出身、峯田恵太です。

新城を活性化するための具体的な政策や新城をどう変えたいかをこの場では述べるべきだと思ったのですが、それを言うには私はまだまだ未熟なので、今回は私の新城に対する思いを述べさせていただきます。

新城には何もない、この言葉はしばしば、このまちに住んでいる住民の口ぐせになっています。確かに、この言葉は、ある側面から見れば事実です。新城にはたくさんの人が訪れたいような魅力がありません。新城と言ったらこれと言って、万人に通じるような特色もありません。新城に住みたいと多くの人が思うような必然的な理由もありません。もちろん、深く掘り下げていけばいいところはたくさんありますが、表面的に見れば、これといった特徴もない平凡なまち、それが新城です。

皆さんは、そんな地元をどう思いますか。きっと地元に対して、失望されている住民の方もいるんじゃないかと思います。しかし、

私はそうは思いません。私は何もない新城こそ、魅力の固まりだと思っています。だって、何もない状態ほど可能性にあふれているものはないじゃないですか。何もないということは、これから新しい何かが生み出される余地があるということです。私は、若者議会に入り、新城に眠っているその可能性を引き出したいと思っています。

私は、このまちが大好きです。これといった魅力はないけれど、人々がやさしくて、活気に満ちていて、自然が豊かで、星がきれいで、日々が穏やかで、可能性にあふれていて、自分の居場所がある、このまちが大好きです。私が若者議会に入った理由も、純粋にこの大好きなまちに全力を尽くしたいと思ったからです。

この1年間、仲間とともに、若者議会で地元のために全力を尽くしたいと思っています。よろしくをお願いします。

○瀬野航太議長 次に、鈴木理子委員、お願いします。

○鈴木理子委員 豊橋東高校1年、鳳来地区出身、鈴木理子です。

私がこの若者議会に参加しようと思った理由は2つあります。

1つは、新城のことが好きだということです。豊橋の学校へ通ってみると、改めて新城のよさに気づくことができました。ですが、同級生に出身地を聞かれ、新城と答えると、新城のことを知っている子が少ないことにも気づきました。なので、多くの人に新城のよさを感じてもらえるように、まずは自分がもっと新城について詳しくなっていきたいです。そして、一人でも多くの人が好きになってくれるようなまちにしていきたいです。

2つ目は、自分を成長させたかったからです。私は消極的なところが短所だと思っています。自分の意見に自信が持てず、心配になることがあります。ですが、今回の若者議会は話し合いをしていかなければなりません。

自分を変えられるのは今だと思い、参加することに決めました。初めは緊張するかもしれませんが、何事にも積極的に取り組む姿勢を見せていきたいです。

私は、この若者議会での活動を通して、新城市を帰りたいまち、もう一度、行きたいまちに少しでも近づけるように頑張りたいです。私もそうですが、高校、大学、社会人となり、市外へ行く人も多くなってくると思います。そんなときに、やっぱり新城市が一番だと思ってもらえるようなまちにしたいです。

また、高速道路の開通を通して、より多くの観光客が足を運んでくれています。新城のよさを存分に味わってもらい、楽しかった、もう一度、行きたいと思ってもらえるまちにしていきたいです。そのためにも、どんどん新城のことをPRしていきたいです。新城市には、観光名所が数多くあります。そんな名所の楽しみ方などを伝えていければよいと思います。

それと同時に、若者議会のこともPRしていきたいです。どんなことをやっているのかを知ってもらい、関心を高め、協力してくれる人をふやしていき、市内に住む多くの人だけでなく、愛知県、全国にもつながっていくといいです。

若者議会に参加しているからには、視野を広く持ち、多くの面から新城を見詰めながら活動したいです。積極的にという言葉も忘れず、一生懸命頑張ります。1年間、よろしくをお願いします。

○瀬野航太議長 次に、伊藤彰英委員、お願いします。

○伊藤彰英委員 豊橋工業高等学校電子機械科2年、鳳来地区出身の伊藤彰英です。

まず、私がこの若者議会に入った理由を言いたいと思います。その理由は主に2つあります。

1つは、この新城のために、何かしたいと思ったからです。私は鳳来中学校に通ってい

たとき、吹奏楽部に所属していました。吹奏楽部では、新城音楽祭やさくらまつりなど、市の行事に参加したり、児童館で演奏したり、地元地域との交流を顧問の先生指導のもと、積極的に行っていました。しかし、高校生になってからは、学校のある豊橋市が活動の中心となり、めったにここ、新城とかかわらなくなっていました。あるとき、突然それに気づき、新城のために何かできないかなと思っていたところで、若者議会の存在を知り、私は入ることを決めました。

もう1つの理由は、ただ単に、新城が好きだからです。私は、実は生まれは違うところで、2歳のときにここへ引っ越してきました。しかし、私は生まれも育ちも新城と言いたいばかりです。豊かな自然、盛りだくさんのイベント、奥の深い歴史、ほかにもたくさん新城市にはいいところが、探せば探すほどあると思います。私はそんな新城が大好きです。

しかし、この魅力というのは、まだまだほかの地域の人に知られていない、そもそも市内に住んでいる人がそれをわかっていないというのが現実だと思います。それをこの若者議会が打開できます、この状況を打開できると思います。

私は、自分の持てる力を全て出し切って、この新城市をよりよくしていくお手伝いを、ここにいる皆さんや、市の方々、そしてここに住んでいる人たちと一緒に進めていきたいです。そして、私が趣味で行ってきた動画編集の技術や、それに関連したノウハウを生かしていけたらなと思っています。これから1年間、よろしくをお願いします。

○瀬野航太議長 次に、安井勇太郎委員、お願いします。

○安井勇太郎委員 新城東高等学校2年、東新町地区出身、安井勇太郎です。

僕が今年、若者議会に参加しようと思った理由は、第3期生の活動を詳しく知ることができ、第3期生に若者議会というものの仕組

みを教えてもらって、自分もそれに参加して、一緒に新城を変えていきたいと思ったからです。新城東高等学校で、第3期生が若者議会のことを説明してくれて、予算1,000万円の使い道を、実際に決めることや、新城市の図書館の改造の説明を聞いて、とても素晴らしい政策だと思いました。自分は図書館をよく使っていて、テスト週間の前などに図書館に行くのですが、いつも席が少なく、困っていたところ、若者議会の政策でそれを変わってくれて、自分もそのような政策を、自分で考えてやっていきたいと思っています。

僕は、今年は市内に広報をすることに力を入れていきたいと思っています。第3期生からもらったプリントには、第1期、第2期は市外に向けて広報してきました。ですが、今年の第3期は市内の方に若者議会を知ってもらい、僕のような若者議会に参加したいという人をふやし、自分たちが今年1年で成長していきたいと思っています。

まだまだ発表するも未熟な自分ですが、1年間を通して、第4期生の皆さんと一緒に行動し、成長していきたいと思っています。1年間、よろしくお願いします。

○瀬野航太議長 次に、島田祐里委員、お願いします。

○島田祐里委員 第4期若者議会の委員になりました、豊橋商業高校2年の島田祐里です。

私は、中学校2年生のころ、中学生議会に参加しました。その準備で、住んでいる地域の問題点などを調べたり、話し合ったりしました。今まで、余り気にしていなかった問題点や、いいところなどを改めて考えたり、その問題点の改善策を発表する時間が貴重な経験となりました。

正直、私は自分の考えを人に話すことや、大勢の前で話すことが苦手です。なので、中学生議会でも用意した原稿を読むのが精いっぱい、周りの空気に圧倒されて声が小さくなってしまったり、自分から手を挙げて質問

をすることはできませんでした。せっかく学校の代表として参加したのに、質問ができなかったことに悔いが残りました。

現在、私は市外の高校に通っています。そこで、驚いたのは、新城のことを知らない人がいたことです。え、新城ってどこというセリフにとっても衝撃を受けました。そのとき、私はもっと自分の住んでいる新城のことを知ってもらいたいと思いました。

友人が第3期若者議会の委員を務めており、そこで活動したことや身についたことを話してくれて、入ってみたらと誘ってくれました。自分と同じ年の友達が地元のために活動していることに刺激を受けて、私もやってみたいと思ったし、とても興味がわきました。

私は、新城をもっとよくしたいと思って参加したのはもちろん、中学生議会での後悔した経験や委員として活動していく中で、自分の中の苦手を克服していき、新城とともに自分ももっと成長していきたいという気持ちから参加させていただきました。

市外にいる時間のほうが多くなった今だから気づけることや、学生ならではの考えなど、いろいろな視点から新城を見詰めていき、問題点を発見して、改善していったり、いいところを見つけて、伸ばしていけるように頑張りたいと思っています。1年間、よろしくお願いします。

○瀬野航太議長 次に、本田愛実委員、お願いします。

○本田愛実委員 皆さん、こんばんは。新城東高校作手校舎2年の本田愛実です。

私は、昨年、若者議会のことを知り、私もぜひ参加したいと思いました。しかし、もともと、人に説明するということに対して苦手意識を持っていた私は不安な気持ちが強く、結局は参加を諦めてしまいました。ただ、若者議会に参加したいという思いは消えることなく、その後も若者議会主催のイベントなどに参加しているうちに、グループディスカッ

ションすることの楽しさを知り、徐々に不安な気持ちは消え、今年から参加することとなりました。

私の提案は、新城総合公園など、人がたくさん集まれる場所に、これから有名になっていきそうな若手のバンドなどを呼んで、野外フェスを開催することです。

こちらをごらんください。岡崎市の実際に過疎化が進んでいる旧額田地区で、野外フェスを開催した際の新聞記事です。この企画は、臨時駐車場も満車になるほどの盛況だったそうです。このようなイベントを開催すれば、高速道路を利用し、遠方からこの新城にいらっしゃる方もふえると思います。音楽の力で、ぜひこの新城を盛り上げたいです。

この1年間、よろしくをお願いします。

○瀬野航太議長 次に、瀧川祐依委員、お願いします。

○瀧川祐依委員 第4期委員となりました瀧川祐依です。市内有限会社ステップ・ワンのパート職員と主婦をしております。生まれは新城市八名地区、現在は新城市元鳳来町乗本地区在住です。

私の中にわいてくる思いの一番大きなものは、新城市の子供たちの育ちです。子供は日本の未来、新城の未来そのものです。私は、特に小学校就学前のゼロから6歳の子供たちにフォーカスしています。この時代に生まれた命が1つの人間になっていく過程で、ゼロから6歳という年齢は人間形成、人格形成のなされる大切な時期に当たります。また、その時期の子供たちのほとんどが成長の場の1つとして、新城市の運営することも園、または児童館などの子育て支援施設を利用していると思います。

今、この地で家庭を持ち、我が子の子育て、我が子の子供の育ちに寄り添う立場である私に、何ができるんだろうか、このようなことを思い浮かべていました。保育士として、現場を体感する選択肢もありましたが、今回の

若者議会を通して、新城のことを今よりもっと知ったり、市政に近づいたり、思いを伝えたりするということに興味がわいてきました。自身を成長させる場であるとも感じております。

私の思いの中には、今、お話しした子供たちが常にありますが、それを一番に主張したいというだけではなくて、若者議会ではいろいろな年齢や立場の委員が織りなすものを集めていくということに楽しみを感じ、参加いたしました。

これまで、若者議会を形にしてこられた全ての方のおかげでこの場にいられることに感謝しながら、理解を深めて、これからスタートする第4期の皆さんとのコミュニケーションを大切に場をつくっていきたいと思います。1年間、よろしくお願ひいたします。

○瀬野航太議長 次に、古瀬愛優美委員、お願いします。

○古瀬愛優美委員 国府高校1年、千郷学区、古瀬愛優美です。

私が若者議会に入った理由は、ここで活躍されている同じ中学校の先輩を見て、格好いいなと思ったからです。私と2つほどしか変わらないのに、自分が住んでいる市について考え、自分で意見が言えるという姿、いろいろなイベントで積極的に新城のことをPRしている姿に驚きました。そして同時に、2年後、私はあんなふうになれるのかなと不安にも思いました。でも、目の前に、そうなれるかもしれないチャンスがあります。だったら、挑戦してみたいと思い、参加しました。

でも、どうしても一歩が踏み出せず、迷った時期がありました。そんなときに、ある友人が、若者議会、私は参加してみようと思っているよと言ってくれました。私は、自分の思っていることをしっかりとと言えるその友人に追いつきたいと思いました。また、仲のいい友人がいることを心強く思い、背中を押され、応募しました。

また、私は新城市に住んでいますが、新城市のいいところを胸を張って答えられる自信はありません。だから、まずここで、新城市のよいところを知っていきたいと考えています。具体的にやりたい政策は思いつかないのですが、新城市のいいところを即答できない若者がいなくなるような政策をしていきたいと考えています。あと、私は自分の意見を出すことが苦手なので、そこを若者議会を通して変えていきたいです。

1年間、よろしく申し上げます。

○瀬野航太議長 次に、古市佳那委員、お願いします。

○古市佳那委員 今回、第4期若者議会に参加させていただきます愛知学院大学商学部3年生、千郷学区出身の古市佳那といいます。

私は、人前で話すことがとても苦手です。なので、この若者議会でたくさんのお話を積み、自分に自信を持って、堂々と人前で話せる人間になり、自分自身を成長させていきたいと思っております。

私は大学生になってから、新城市の認知度の低さというものを実感しました。というのも、大学には各方面からたくさんの方が集まっていますが、同じ愛知県民でも新城市のことを全く知らなかったという人が思っていた以上にいて、とても衝撃を受けました。そこで、私は自分が新城市の魅力をもっと発信していきたい、知ってもらいたいと思うようになりました。そして、魅力を知ってもらいたいという思いと同時に、自分自身もまちづくりにかかわれる一員となれたらいいなと思い始めました。

そこで、頭に浮かんだのが、この若者議会のことでした。若者議会に入り、自分も新しい新城市をつくる一員になりたいと思い、今回、応募させていただきました。

その後、若者議会に入りたいと思い、若者議会について、いろいろ調べました。すると、

今まで自分が知らないところで、さまざまな活動が行われているのをホームページを通じて知りました。今まで、どういった活動が行われているかということ、それまでほとんど知らなかったです。

このように、ホームページをつくったとしても、見たいと思うようなホームページをつくらなければ、そう思わせるようなホームページでなければ見ないような時代になっているのかなと感じています。なので、どうすればよりホームページを見たいと思わせるものにできるのかということを考えていきたいと思っております。

恐らく、私のように、若者議会というものの存在は知っている、でも若者議会がどういった活動を行っているのか知らないという人たちも多くいると思われそうです。なので、新城市の魅力をPRするのはもちろん、若者議会の活動についても、より多くの人に知ってもらえたらいいなと感じました。そうして知ってもらって、若者議会に携わる人たちだけではなく、地域の人たちみんなで、この新城市をつくっていったらいいのではないかと思います。

私は、今、大学で、商品開発についての勉強をしています。どうすれば、より多くの人にその商品のことを知ってもらえるのか、お客様にも満足していただけるには、お客様が求める商品とはなど、お客様目線に立つことはもちろん、どうすれば価格を少しでも安く抑えられるか、効率よく売っていくには等の、売る側、つくる側の利益を得るにはどうすればいいかということを考え、商品開発について学んでいます。この学んでいることを生かして、この新城市にも新たな名物をつくっていったらいいなと考えています。

最後にはなりますが、1年間、議員として精いっぱい務めてまいりますので、これからよろしく申し上げます。

以上で終わります。ありがとうございます。

た。

○瀬野航太議長 次に、大久保汰一委員、お願いします。

○大久保汰一委員 愛知県職員として、新城設楽建設事務所で4月から働いております、大久保汰一と申します。

新城市を今より住みよいまちにしたいと思っておりますが、明確に何をこうしていきたいというビジョンが今のところないので、どうして若者議会に参加しようと思ったのかを話したいと思えます。

僕は新城市で生まれ、大学進学で三重に行くまではずっと新城市に住んでいました。そして、今年から就職を機に、新城市に戻ってきました。県外にいたころは、若者議会という政策について何も知らず、地元に戻って来たら広報紙を見たり、家族に教えてもらったりして、初めて若者議会という政策が行われていることを知りました。

若者議会という政策を聞いて、正直、議会という単語から連想し、堅そうな会議をしている場所なのかな、何をやっている議会なんだろうと、疑問に思いました。

実際に気になったので、ホームページやツイッターを見てみると、新城市をよりよくするために、新城市外に住む若者が、若者目線から新城市で問題になっていることは何か調べ、その対策をどうするか話し合っている、すごく楽しそうな議会であることがわかりました。

僕が今までの若者議会が行ってくれた政策の中で、特に一番よかったと思ったのは、図書館リノベーション事業です。高校生時代、テスト期間中や受験シーズンになると、よく図書館を利用していたのですが、学習スペースが狭い、椅子や机が使いづらいなど、勉強以外で、少し苦い思いをしながら勉強していました。ですが、地元に戻った折に、図書館に行ってみると、勉強スペースが増築され、使いやすくなっておりました。これを見て、

今の高校生はいいなとうらやましく思いました。

また、それと同時に、図書館リノベーション事業のように、今現在、新城市におり、新城市のここが改善されれば、もっとよくなるのと思ったことが市政に反映できるチャンスがあるのはすごくおもしろいことだと思いました。そうしたことから、僕も若者議会に参加し、新城を住みよいまちにしたいと思うようになりました。

僕は若者議会の一員として、今後、新城市がよりよいまちになるように、精いっぱい頑張りたいと思えます。

○瀬野航太議長 次に、中西航太郎委員、お願いします。

○中西航太郎委員 新城東高等学校2年、千郷学区出身の中西航太郎です。

僕は人の役に立つ仕事が好きです。中学校では、積極的にボランティアに参加し、地域の人たちとの交流を通じて、学校をよりよいものにしようと頑張ってきました。ですが、高校に入ってから、部活と勉強で忙しくなり、人の役に立つことができなくなっています。そんな中で、僕が見つけたのが、新城市で行われている若者議会でした。

僕は若者議会の議員として、やりたいことがあります。それは、新城市を若者や子供を持つ家族を住みやすい環境にすることです。今後、新城市は消滅可能性都市になりつつあるようです。そうならないように、新城市を魅力的な住みやすい市にしなければならぬと思えます。

自分の考えが少しでも役に立ち、新城市がよりよい市になるように頑張っていきたいと思えます。1年間よろしくお願ひします。

○瀬野航太議長 次に、土谷涼委員、お願いします。

○土谷涼委員 新城東高等学校3年、千郷地区出身の土谷涼です。

僕が第4期若者議会に入った理由は、まち

づくりが好きだから、そして第3期で出会った仲間たちとともに作り上げた政策を、この目でもう一度、確かめたいからです。

僕がまちづくりに魅かれた理由は、昨年、第3期若者議会を通して、自分がみずから新城市のためになることをしているということを実感しながらできたことが一番大きいです。

まちづくりって何なのか？、第3期若者議会に入る前はよくわかりませんでした。しかし、入って1年経験をして、自分にもできることがある、そして新城の一市民として、一若者として、もっといい政策を立案し、自分たちの将来に向けても、よりよいまちにできる、そういう経験ができたからです。

そして、第3期の仲間たち、僕は昨年、6人で2つの事業を担当し、時にけんかし、時に笑いあい、幸せな日々とつらい日々を一緒に過ごしてきた仲間が今、メンターにいてくれています。その仲間とまた、こうして政策をつくることができる、そのうれしさがこみあげてきています。

僕は、この1年、農業について、もう少し知ろうと思います。その理由は、自分の実家が農家であり、そして新城東高校に通う際、通学路に畑や田んぼが多いことです。それなのに、みんなは何もないと言って、農業のことなんて関係ないやという感じで語ってくるので、それがすごい嫌でした。もっと農業を活性化し、経済の基盤になっていけば、新城市の財源もふえ、自分たちがやりたいことがもっとできると思います。そんな新城にできるよう、この1年、頑張っていきます。よろしくお願いします。

○瀬野航太議長 ありがとうございます。

なお、伊藤侑委員、三浦嗟右委員、間瀬木のぞみ委員については、都合により欠席されています。三浦嗟右委員、伊藤侑委員につきましては、本人の希望で所信表明を代読してほしいとのことですので、私がかわりに伊藤委員、三浦委員の所信表明を読ませていただ

きます。

初めに、伊藤委員の所信表明を代読させていただきます。

第4期若者議会の皆様、初めまして。新城市在籍29年の伊藤侑と申します。西入船に住んでいます。

私は21歳から介護業界で働いています。長年勤めることで、わかってきた介護の厳しい現実。施設に入所している方ならまだしも、入りたくても入れない方、入所の順番を待っている間に亡くなってしまう方など、多くの問題があります。

この新城市にも入所待機者が存在します。中でも、ひとり暮らしの高齢者だと、待っている間に孤独死ということも考えられます。

それを防ぐためにも、若者議会で福祉チームではないですが、福祉関係で何か活躍できればと考えています。

まだ、介護業界は全国で人手不足です。若い世代の子たちに少しでも興味を持っていただけたらうれしく思います。

1年間という短い間ですが、よろしく願いいたします。

以上です。

続きまして、三浦委員の所信表明を代読させていただきます。

千郷地区に住んでいる、新城東高校2年の三浦です。

僕は、新城市について、このように思います。「新城市にないものを言えと言われたら、すぐに答えられるけれど、あるものを言えと言われたら、少し考えてしまう。」確かに、新城市には映画館などの娯楽施設はありません。でも、あるものについて、よく考えてみると、乳岩峽などの美しい自然や、長篠・設楽原の戦いなど、歴史的にも重要な戦いがあった場所があると言えます。なので、新城市にはないものがあったとしても、それ以上にほかの市にないものを持っていると思います。だから、新城市民が、新城市にあるものに対して

誇りをもって「ある！」と言えるように、全力を尽くして頑張りたいと思います。

以上です。

それでは、若者議会委員に引き続き、若者議会市外委員から、お一人ずつ所信表明をお願いいたします。

それでは、水野裕策市外委員からお願いします。

○水野裕策市外委員 このたび、市外委員に選任された名古屋学院大学3年の水野裕策です。

自分も新城のことに話そうと思ったのですが、自分は茶臼山駅から新城東高校までの道ぐらしか知らないの、それで新城のことを語るのは失礼だなと思ったので、ここでは本音を、自分の本音を所信表明とさせていただきます。

自分は大学1年生の講義で、実際にクライアントとなる企業から依頼を受けて、彼らが実際に抱える問題について考えて、その解決策を企業に提出するという授業がありました。ですが、情報収集やその整理の仕方、エクセルを使った統計分析、論理的な思考法、ディスカッションの仕方、報告書の作成などといったスキルやノウハウがなく、クライアントの要望に応えることができず終わってしまいました。あれから2年が経ち、大学生レベルではありますが、情報収集、統計分析や回帰分析、計量経済学的分析などを学びました。学習した知識を使い、2年前のリベンジをしようと思いました。

2つ目に、こんな貴重な経験をするチャンスを見逃すわけにはいかないと考えたからです。若者議会に参加していた友人から話を聞き、どんな活動をしているのか気になって、調べてみたところ、若者が問題を抱え、話し合い、若者の力を生かすまちづくり政策を検討していて、予算の使い道を若者みずからが考え、政策立案しているということを知って、このような貴重な経験ができる若者議会にぜひ参

加し、意見をしてみたいと思いました。

正直なところ、自分の糧になると思っているのが動機の根底にあるため、新城市のためにやってやるぞという気持ちはもしかしたらほかの委員に負けてしまうかもしれません。ですが、やるからには精いっぱい努力します。1年間、よろしくお願いします。

○瀬野航太議長 次に、野口貴大市外委員、お願いします。

○野口貴大市外委員 第4期新城市若者議会市外委員を務めます、筑波大学大学院教育研究科1年、野口貴大と申します。

以下、市外委員としての所信表明をさせていただきます。かつて、文化人類学者マーガレット・ミードはこう言いました。「Never doubt that a small group of community people can change the world.」その意味するところはこうなります、「何人たりとも、次の考えを疑ってはならない。それは小さいが情熱を持った集団こそが世界を変えられるということだ。」この言葉の中にある、「小さいが情熱を持った集団」とはまさに若者議会のことだ、これが私の若者議会に対する第一印象でした。

愛知県新城市、正直に言って、この地域に対する私の印象は薄いものでした。そういえば長篠の合戦という戦いがあった、そういえば愛知県で唯一の消滅可能性都市であるらしい、そういえば高校生のとき、新城市から通学していた同級生は飯田線がシカにぶつかったと言って、遅刻をしていたな。とりたてて関係の深い土地でもなく、私はこのぐら이의感想しか持ち合わせていませんでした。

しかし、灯台下暗しとはよく言ったものです。私の気づかないところで、新城市を変えようとするこれほど大きなうねりが起こっていたとは。若者議会の活動を知って、自分の胸が高まるのを感じました。そして、この活動を自分の目で見てみたいと思い、参加を決意しました。

さて、今まで新城市若者議会はさまざまなアクションを起こし、新城市を変えてきました。そうした先輩方の諸成果を私たちは受け継がねばなりません。しかし、その上で、もう一步踏み出したい、新城市を変えるだけではなく、世界を変えるために、動きを起こしたい。そのためには何が必要なのでしょう。

世界を変えていくためのメインエンジンとなるもの、それは教育です。例え、新城市の知名度が上がろうと、そこに住む人々が社会に参加していかなければ、衰退に歯どめはききません。幾ら交通網が整備されようと、そこに住む人に地域を思う心がなければ、ふるさとは人の心から消え去っていきます。そうならないために、私たちは人を育てることに精いっぱい努力を注がねばなりません。教育、それは地域を支え、未来を支え、そして世界を変えていくための大黒柱だと、私は信じています。

1人の力は極めて小さく、一方、目の前にある現実には極めて手ごわい。しかし、だからと言って、何もせず、指をくわえて見ているだけでは状況は一向に改善しません。私は世界を変えられることを夢見て、小さいが情熱を持った集団の一員として、全力で進んでいく所存であります。

以上です。

○瀬野航太議長 次に、柴田魁人市外委員、お願いします。

○柴田魁人市外委員 愛知大学地域政策学部2年、豊田市出身の柴田魁人です。

まず、今年度も僕が若者議会に応募した理由について、話させていただきます。去年の所信表明では、ここで若者議会について、これは絶対におもしろいと感じ、応募させてもらったと言いました。そして、僕は1年間、若者議会に参加してきて、多くの経験をさせてもらい、多くの学びを得ることができました。そして、1年間を通して、やっぱり若者議会はおもしろかったと思っただけではなく、

新城はすごくいいところだ、新城の発展にまだまだ僕はかかわりたいと思ったため、今年も応募しました。

次に、今年度、僕が若者議会で行いたいことについて話させていただきます。私がやりたいと思っているのは、教育ブランディングチームのシチズンシップ教育についてです。昨年は、新城中学校の1校のみでワークショップを開催していました。今年度は、ほかの中学校でもやっていけたらなと思っています。そして、内容も一步踏み込んだ形でやりたいと思います。

例えば、ワークショップの中に地域の方を巻き込んで、一緒に行くことで、もっともっと地域のことについて、そして地域のことを考える場にできたらなと。さらに具体的な、政治的な政策についてもワークショップの中で行い、政党などは出さずに行くことで、政治的中立性にも考慮して行うことができると考えています。その結果、政治的無関心についても改善できるのではないかと、それにつながってくるのではないかと、僕は思っています。

ほかにも、ターゲットを中学校に絞って行っていますが、これから小学校にも手を伸ばしていきたいと考えています。小学生にも手を広げることで、長期的にシチズンシップ教育を行うことができ、よりよく、より充実したものにできると思います。それだけではなく、小学生にも手を広げることには、小学生になるところで、子供にいい教育を受けさせたいと思う、そういう親っていっぱいいると思うんです。なので、そういう親に対しての交流人口、受けさせたいと思う親がふえることで、子育て世代の移住者をふやすことができるのではないかと考えています。小中学校への一貫した教育を行うことで、さらには新城市のブランドとして教育があるという形にできるのではないかと考えます。

さらに、子供だけではなく、大人にシチズ

ンシップ教育を行うことで、子供は親から教えられることが多くあります。なので、親世代にもシチズンシップ教育を行い、新城について考える人をふやし、子供たちがより一層、新城について考えるようになっていくのではないかと考えています。

最後に、昨年、若者議会にかかわり、1年間で僕は新城が好きになりました。もう一度、この場に立てて、本当にうれしいです。1年間、若者議会のメンバーとして新城の発展に貢献したいと思います。1年間、よろしくお願ひいたします。

○瀬野航太議長 次に、山崎ランサム祈璃恵市外委員、お願ひします。

○山崎ランサム祈璃恵市外委員 玉川聖学院2年、横浜市在住の山崎ランサム祈璃恵です。

今、皆さんの所信表明を聞いていて、昨年度までは新城市に興味のない若者を問題視して活動していたため、新城は本当にいいところだ、新城のために何かしたい、新城が好きだという声をたくさん聞いて、すごくうれしく思っています。また、たった1カ月ですが、新城から離れて生活をしてみて、改めて新城のよいところをたくさん知ることができました。

私は、昨年度、まちづくりに興味を持って、若者議会に入りました。そして、一番おもしろそうだった教育ブランディングチームに入りました。教育という分野は本当に難しく、会議のたびにすごく頭を使って、大変でした。しかし、私には頭をフル回転させて、2時間の会議がすごく楽しかったです。そして、チームのみんなの考えが1つになって、結論が出たときは、とても達成感がありました。そのほかにもワークショップを行ったり、県外にイベントに行ったり、ふつうの高校生にはできないような経験をたくさんさせていただきました。

こんな若者議会の1年から、私は多くのものを得ました。会議で自分の意見を言えるよ

うになったり、人前で話せるようになったり、将来の選択肢が広がったり、このすばらしい経験で得た数々のものをこのまま手放してしまうのはもったいないと、私は強く思いました。どのような形で今年度はかかわっていかうかと思っていたときに、また市外委員になれて、とてもうれしく思っております。

また、教育ブランディングチームの事業はすぐに結果が出るような事業ではありません。私たちが昨年度までやっていた事業の4期生への引き継ぎも難しいものだと思います。今年度は、昨年度の経験を生かし、委員のサポートもしつつ、市外委員として新城市を客観的に見て、この市をよりよくするために、たくさんの意見を出していきたいと思っています。

若者議会は、本当に人生を変えてくれる1年です。今年も初心を忘れずに、1年後の自分に期待を持って活動したいです。1年間、よろしくお願ひします。

○瀬野航太議長 次に、石倉美生市外委員ですが、本日は欠席のため、この場にはおりませんが、本人の希望で動画を流してほしいとのことですので、動画による所信表明をお願ひします。

○石倉美生市外委員 本日は会場に出席できず、このような形での所信表明となってしまったこと、おわび申し上げます。市外委員に選出していただきました石倉美生と申します。

私は、高校卒業までは富山県で過ごしました。その後、大学進学のため、埼玉県へ行き、7年間、埼玉県公立小学校の教員を務めました。この4月から教員としてではない立場で教育に携わり、学校と地域をつなげ、よりよい教育をつくっていきたいと考え、島根県津和野町教育魅力化コーディネーターとして働いております。実は、新城市との個人的なつながりは、今まで一度もありませんでした。しかし、メンターでもある間さんより、声をかけていただき、御縁あって今、こうして皆

様の前でお話しすることができております。

この新城市若者議会に入った理由は、志ある新城の若者、高校生と一緒に、より良きを目指して、一緒に活動したいと思ったからです。これからの学校教育が果たすべきものは何なのか、本当に伸ばすべき力は何なのか、社会に開かれた教育課程をどう実現していくのか、教育に求められていることは、全国共通の課題です。市外にいるからこそ、県外にいるからこそ感じる視点を大切に、皆さんと協力し、全力で取り組んでいきたいと思っております。

欲しい未来は、強い思いと、ともに頑張る仲間がいれば必ずつくれます。その思いを常に持ち、1年間活動していきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

○瀬野航太議長 ありがとうございます。  
この25人で、答申に向けて、第4期若者議会一丸となって活動していきたいと思っております。

#### 6. 市議会議長あいさつ

○瀬野航太議長 それでは最後に、大変お忙しい中、御出席をいただきました丸山市議会議長様からごあいさつを賜りたいと存じます。

丸山議長、お願いいたします。

○丸山隆弘新城市議会議長 皆さん、こんばんは。本日は大変お疲れのところ、ありがとうございます。

皆様方の決意表明、所信表明でありますけれども、決意として議会のほうは受けとめさせていただきます。1年間、本当にフルに頑張っていたいただきたいなど、こんな気持ちでいっぱいあります。

先ほどの話の中でも多々、すばらしい表明がございました。私も、この新城市議会としましては、この議場を使ってですね、年に4回、定例議会というのをというのをやっております。その定例議会の合間、合間に、また臨時議会というのがありまして、年間通して、ほぼ大体、すぐ隣の部屋を使いながら、また話し合いをしておりますけれども、あい

たときにはまた議会事務局を通してですね、この議場を使っていただければ幸いです。どうぞ、フルに活用していただければと、こう思います。

昨年、11月以降ですね、新しい議会の構成になりまして、私も責任を今、とって、18人のまとめ役になっておるわけでありまして、卒業式や入学式のときにも、私なりのあいさつをさせていただく中で、中学校や高校の入学式や卒業式ですね、そのときにいつもこの若者議会のことを少し触れさせていただいております。

やはりですね、1人でも多く、こういう若者議会の、市長から与えられたこういう機会をですね、必ず生かさせていただきたいなという、そういう気持ちがいっぱいあります。この第4期目に入ったわけでありましてけれども、1期目の委員の中には、この新城市議会議員の議員として、昨年誕生した竹下議員もおります。本当に、若い人から、私たちベテランの議員でありますけれども、そういうこの議員の中でですね、切磋琢磨しながら、皆さんの心をしっかりとつかんでいきたいなど、こんな気持ちでおりますので、どうぞ大いにいろんな活動を励んでいただきたいなど、こんな思いであります。

実は、2、3日、3日前でしたかね、今、ちょうど明日から始まるんですけども、長篠ののぼりまつりですね、3日前に御任職、医王寺の御任職がおみえになりまして、ぜひとも若い人たちにこののぼりまつり、また三部作になるわけでありまして、亀山城のおまつりや長篠・設楽原のおまつり含めてですね、どんどん参加をしていただきたいと、こういうお誘いがありました。

チラシもつくってですね、市長さんのところにも行っておりますけれども、議会のほうでは皆さんにも回覧しておるんですけども、5月の4日にですね、明日からは弓道大会がある、ちょっと雨で大変だなと思っておりますが、

4日からは晴れてくる予定であります。

4日にはですね、若い人たちがエンドレスというダンスグループがありますけれども、ほうらい吹奏楽団の曲に合わせてですね、踊っていただける。また、長篠陣太鼓、小学校の生徒さんたちが、子供さんたちが合同で、中部小学校と東陽小学校、演奏をやっていた。また、紅太鼓という女性部のベテランの方々の太鼓、それから一番最後にまた、今度、長篠設楽原の忍者隊というのがあるんですけども、これもダンスチームでありますけど、エンドレスの方々がやっておられるんですけど、ぜひともこういう行事にですね、時間が取れましたら参加していただいて、触れさせていただくということも、またこの1年を通じて、大きな宝になるのではないかなと、このように御住職がおっしゃっておられました。ぜひともですね、機会がありましたら、お越しいただければと思います。また、お話の中でありましたように、若者が地域を盛り上げる必要があるんだと、このように冒頭のほうでもおっしゃっておられました。

また、瀬野議長様がおっしゃっておられましたように、今後のこういう生き方についても、また人生を通してですね、必ず絶対ない機会になりますので、息合わせて、また和気あいあいと、この1年を過ごしていただきたいと思います。

必ず答えは出てまいると思います。その答えを、私たち議会がまた審査をさせていただいて、結果としてですね、議会の評価としてもまたつなげていきたいなど、こんな思いであります。

最後になりますけれども、去年は若者議会の皆さんと意見交換という機会をつくっていただきました。一度きりでありましたが、今年は何としてもですね、1回以上、皆さんと市議会の公職で選ばれた議員の人たちと肌で触れ合っていたいただきたいなど、こんな思いがありますので、ぜひとも機会をつくってくだ

さい。よろしく申し上げます。

1年間、頑張ってください。

○瀬野航太議長 ありがとうございます。

本日は大変お忙しい中、穂積市長様、丸山市議会議長様、村田副議長様、広瀬副市長様、和田教育長様、そして多くの傍聴者の方々にもお越しいただき、まことにありがとうございました。また、若者議会のスタートに際しまして、議場を快く御貸しいただいた丸山議長様を初め、市議会議員の皆様、ありがとうございました。

第1期、第2期、第3期と議長を初め、多くの委員の方が若者議会をよりよいものにしてきてくださいました。これから、第4期も始まりますが、今まで活動することができたのは地域の方々の支えがあってこそです。一人一人が大きな責任をもって、これからも活動していけたらと思います。

私自身、まだまだ未熟ではありますが、今後とも御指導のほど、よろしく願いいたします。

これをもちまして、第1回新城市若者議会を閉会とさせていただきます。

○三浦企画部長 それでは、長時間大変お疲れさまでございました。

若者議会委員、及び市外委員の方は最後に記念撮影・事務連絡、そしてティーズ等のインタビューがございます。引き続き、よろしく願いいたします。

これをもちまして、第1回新城市若者議会の全てを終了いたします。傍聴者の皆様におかれましては、お気をつけてお帰り下さい。ありがとうございました。

(拍手)

閉 会 午後8時30分